

がん登録担当者研修会報告



杉山 裕美 JACR理事

放射線影響研究所

今年の研修会は1. がん登録に役立つ病理の基礎知識と、2. がん登録の精度管理の二つのパートに分けて開催しました。前半、寺本典弘先生(四国がんセンター)は、「がん概論と病理報告書」として、そもそもがんとはどういう疾病なのかの講義から始まり、病理診断の概要と報告書の読み方をご教示いただきました。海崎泰治先生(福井県立病院)は、腫瘍の組織像から組織型をどう分類するのかという病理学的考え方の基本から、国際疾病分類腫瘍学(ICD-O)における形態分類、コーディングルールをご教示いただきました。どちらも実務者が悩みがちな腫瘍について、具体例をあげて現実に則したコーディングをご講演いただきました。

後半は、奥山絢子先生(国立がん研究センター)に、質の良い院内がん登録データとは、「がんの罹患、診療、転記等の情報を的確に把握でき、治療の結果等を評価し、他施設と比較できること、がん医療の質の向上につながるデータであること」として、どのような変数を用いて、どのような集計をしていくことで確認できるのか、具体的な集計表やグラフを交えてご講演いただきました。私は、2018年12月に国際がん研究機関(International Agency for Research on Cancer, IARC)で行われたGlobal Initiative for Cancer Registry Development (GICR)による住民ベースのがん登録データ精度管理研修会で得た知識と教材をもとに、完全性、

比較可能性、妥当性、即時性の4つの柱について説明しました。

院内がん登録も住民ベースのがん登録も、法制化と標準的運用方法の確立により、データベース内での論理チェックは随分楽になりました。データの精度は確かに向上していますが、今後もがん医療向上のために十分活用できるデータであるか、常にモニタリングしていく必要があります。これらの講演が皆様のがん登録データ精度管理にお役にたつよう願っています。



教育研修委員会メンバー

関 連 学 会 一 覧

2020(令和2年)

日程	学会名	開催場所
5月15日(金) ~ 16日(土)	がん予防学術大会2020米子 演題登録期間:1/20(月)~3/20(金)※2019年12月末時点での情報です。	鳥取県 米子コンベンションセンター
6月4日(木) ~ 6日(土)	日本がん登録協議会第29回学術集会 	栃木県 栃木県総合文化センター
10月1日(木) ~ 3日(土)	第79回日本癌学会学術総会	広島県 リーガロイヤルホテル広島・メルパルク広島・広島県立総合体育館
10月20日(火) ~ 22日(木)	第79回日本公衆衛生学会総会	京都府 京都市勧業館みやこめっせ
10月22日(木) ~ 24日(土)	第58回日本癌治療学会学術集会	京都府 国立京都国際会館・グランドプリンスホテル京都
10月12日(月) ~ 15日(木)	国際がん登録協議会学術集会(IACR)	ニューカレドニア ヌメア